〝長年ありがとう〟

旧役場庁舎取り壊しに

この八月の新庁舎完成で、廃庁となった旧役場庁舎（旧和納中学校）が取り壊されています。

昭和三十一年に建てられた木造校舎だけに老朽化が進んでいるほか、空き家状態になっているため、防犯上からも早急な取り壊しが行われたもので、二業者により北側事務棟〈写真〉から始まり、今月中にはほぼ全部が取り壊される予定です。

なお、体育館については「東体育館」として、今まで通り活用されます。庁舎取り壊し後の跡地利用については、現在利用目的を検討中です。

若さ躍動!!

つくり上げよう！広げよう！青春の輪

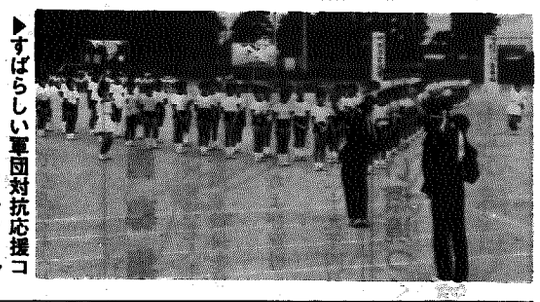
先月11日、岩室中学校（渡辺周一校長 生徒404人）で創立20周年記念体育祭がありました。

この日は、時折り雨のパラつく、あいにくの天候でしたが、1年～3年生が3つのグループ〔青軍団（各学年1組）・白軍団（同2組）・赤軍団（同3組） 2年生は4クラスのため3つに分散〕に分かれ、元気なエールが交されて競技開始――綱引きやむかで競走などの各選手は軍団の名誉をかけ「より速く、より強く」と元気いっぱい。

とくに、全生徒による“軍団対抗応援コンクール”には熱がこもり、それぞれ工夫を凝らした華やかな応援に会場から、さかんな拍手が送られ、広いグラウンドは躍動する若人の歓声につつまれていました。

熱戦の結果は、総合優勝が青軍団、以下赤軍団、白軍団の順でした。

▲男子より女子のパワーがものをいう!?



▶すばらしい軍団対抗応援コンクール

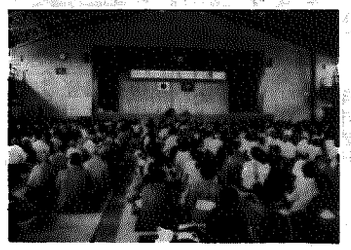
長寿の一因は…

先月二十五日(日)、村民体育館で「敬老会」が行われました。

村内には、百歳を超えた相沢トセさん（一〇四歳）、田中太作さん（一〇一歳）をはじめ、九〇歳以上のお年寄りは十九人。郡内で最高の長寿村。

長寿のお年寄りが多いのは、暖かい家庭もさることながら、海・山・平野というめぐまれた岩室村の自然環境も大きな一因では……。

おじいちゃん、おばあちゃん、ますます、お元気で……。



みんなで楽しいひとときを

去る八月二十九日、脳卒中を起こしたことのある人たちの初めての集まりがありました。

「まだ、名前も決まっていない会ですが、お互いに自己紹介をしたり、映画を見たりして楽しい午後のひとときを過ごしました」と保健婦さん。

今月四日(火)には、二回めの集まりがあります。出てみようと思われる方は保健婦さんまでどうぞ。

遊戯や競走に園児の大歓声

▲気持ちはもうスタートしてます……

和納保育園（陶山奈々園長 園児139人）と第二保育園（星井康子園長 園児60人）の運動会が先月十八日と二十三日にそれぞれ行われ、園児たちの歓声にわいた。

この日のために、遊戯や競走などの練習をつんできた園児たちにとっては、応援につめかけた父親や母親の前で、その成果を披露する〝晴れ舞台〟でもありました。

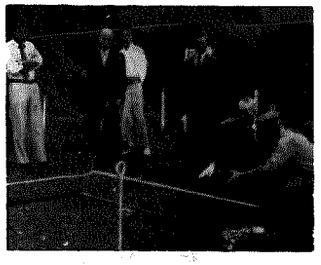
▲ほんとうにかわいい花嫁花婿さんですネ…（和納保育園）

競技名は保育園らしく「走れ！おんぶマン」「かわいい花嫁さん 花婿さん」などユニーク。親子出場の種目も多く、日ごろ家事に忙しい、お母さんたちにとっては、精いっぱいの子供孝行!?となったようです。

◀お母さんがんばって…（和納保育園）

祖父の情熱を記念碑に……

三条市の坂井さんら兄弟



明治末から大正初めにかけて栄えた坂井銅山（間瀬・大安場地内）の採掘者の子孫二人が、六十年ぶりにかつての坑口を発見し、近くを通る弥彦山スカイラインの佐渡見台に記念碑を建てることになり、先月十三日、同所で地鎮祭が行われました。

この二人は、三条市旭町の坂井達三さん（64）と燕市水道町の早川惣治さん（60）の兄弟。

さる四月に祖父にあたる坂井三五郎さんが明治三十四年から採掘を始めた「坂井銅山」の坑口を発見したもので、「祖父が情熱を燃やした鉱山の跡に記念碑を建てて永久に残したい」という坂井さんらの話から、村でも銅山跡を文化財指定しているため、記念碑の建立に協力――碑の題字は金子村長の筆によるもので『坂井銅山史跡』

今月末までには完成する予定です――これから紅葉の季節、みなさんも一度おとずれては、いかがですか。

映画使い老人の交通安全教室

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）の重点対策に挙げられている「老人の事故防止」に合わせて、先月二十二日、お年寄り自ら交通ルールを守って、悲惨な交通事故に巻き込まれることがないようにと、公民館の高齢者学級で「交通安全教室」が開かれました。この日集まったお年寄り約九十人は、稲垣交通課長（巻警察署）の話しや老人向けの映画の上映に熱心なまなざしで学習していました。